



総研大ニューズレター

第30号 2010.11 発行

●目次

- 【今月のトピックス】 「平成22年度10月入学式挙行 総務課」
「総研大後学期学生セミナー・日本文化を学ぶコース・日本語講座開催
学融合推進センター」
「基礎生物学研究所 一般公開『体験！生き物研究空間』開催
基礎生物学研究所」
「シンポジウム『集と断片ー日記と紀行の時空ー』開催
国文学研究資料館」
「第10回自然科学研究機構シンポジウム開催
～大学紹介展示ブース設置 総務課」

【各種募集】

【イベント情報】

主なイベント予定

- 11月10日 情報学専攻 入試説明会
11月12日 統計科学専攻 大学院説明会
11月14日 基礎生物学専攻・生命共生体進化学専攻 合同入試説明会
11月20日 大学共同利用機関シンポジウム
12月16日～18日 国際シンポジウム（岡崎コンファレンスセンター）

【今月のトピックス】

● 平成22年度10月入学式を挙行

平成22年10月7日（木）爽やかな秋空の下、葉山キャンパス2階講堂において平成22年度入学式が行われました。

今年度の10月入学者数は留学生も含めて30名でした。

式典に先立ち、奥田暁仁さんが入学者のために心をこめてピアノ演奏を行ってくれました。

その後、開式の辞、役職員の紹介に続いて、入学者の名前が一人ずつ読み上げられ入学が許可されました。高畑学長より式辞があり、出席者は緊張した面持ちで聞き入っていました。



【文責 総務課】

● 総研大後学期学生セミナー・日本文化を学ぶコース・日本語講座を開催

平成 22 年 10 月 7 (木) ~11 (月) 日 =葉山キャンパス、立川キャンパス=

*後学期学生セミナー53名：学生38名、教員13名、講演者2名

*日本文化を学ぶコース48名：学生29名、学生スタッフ4名、教員3名、その他3名、講演者9名

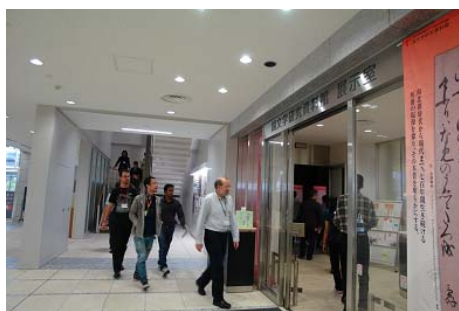
*日本語講座22名：受講者14名、教員3名、学生スタッフ5名

平成 22 年 10 月 7 日の入学式の後、“Knowledge and Imagination”をテーマに実行委員が1年間かけて準備をしてきた学生セミナーが開催されました。



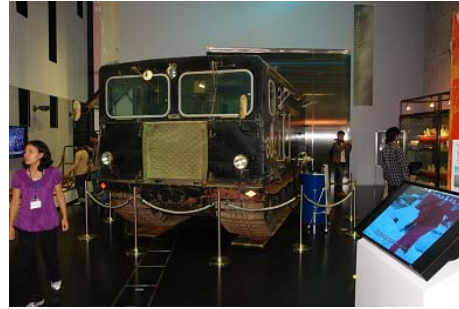
まず南アフリカから招聘した哲学者、Paul Cilliers 先生の“Knowledge, Imagination and Ethics: Dealing with a Complex Future”という講義があり、それを受けた質疑応答やグループディスカッションが行われ、新入生たちには研究者としての姿勢を自分自身に問い直すきっかけになったようでした。また、翌日の北川源四郎統計数理研究所所長の講義では、膨大なデータから真実を選び出すためのヒントとなる貴重な提示がありました。この講義を聞き、深く頷いたり、自分の考えを確かめるように質問したりする新入生たちから、今後の研究に役立てたいという熱意が伝わってきました。

総研大に入学するために世界各地から来日した新入生たちは、それぞれ天文学、分子科学、文化人類学と研究分野も様々です。そこで、実行委員たちは、参加者がお互いに自然に話し合うことができるように、グループになって行う連想ゲームや“Knowledge and Imagination”をテーマとしたコラージュの共同制作など、企画に工夫を凝らしました。その甲斐あって一連のアクティビティの時間を追うごとに、参加者たちの表情も柔らかくなり、笑い声も大きくなっていきました。



10月8日の午後、「日本文化を学ぶコース」の参加者は立川キャンパスに移動しました。国文学資料館の特別展示「鉄心斎文庫 短冊優品展」の見学や百人一首の講義のあと、チームに分かれて百人一首を使ったゲームが行なわれました。参加者たちは、展示では短冊に書かれている意味や短冊を送り合う習慣、後世になってそれをコレクションするようになったといった日本文学研究専攻の先生方の解説を熱心に聞き、その後の「坊主めぐり」では、コンピュータソフトを使った説明がわかりやすかったせいか、「札」のやり取りに一喜一憂し、初めてとは思えないほど盛り上がっていました。

翌10月9日は「能」「文楽」「歌舞伎」といった伝統的な舞踊から「山海塾」のような前衛的な舞踏まで、日本独特な「踊り」について講義していただきました。その講義を聞いた参加者から「能」の面が怖いのは何故か、「歌舞伎」で一番に人気のある役者はだれか、日本の前衛的な舞踏にパントマイムの影響はないのかといった質問がいくつも出され、時間が足りなくなるほどでした。



その日の午後は、第51次南極観測隊長でもあった極域科学専攻の本吉洋一教授からの「日本の南極観測」といった南極研究を概観する解説や総研大修士の研究者の方からの「オーロラ観察」や「ペンギンの行動観察」といった実際のデータを用いた研究成果の発表を聞くことができました。その内容は研究者の卵である学生たちの興味を惹きつけ、講義の後には多くの質問が出ていました。また、南極の氷柱を保存している低温室では「-50℃」を体感し、「南極・北極科学館」ではオーロラシアターで星座やオーロラを眺め、雪上車に乗り、極域で集めた生物や鉱物の展示に触れることができたことも、参加者にとって貴重な体験でした。

10月10・11日は統計数理研究所のセミナー室を借りて、日本語講座が開かれました。なれない発音に悪戦苦闘する場面も見受けられましたが、2日目には新入生同士で日本語を使って話し始めていましたし、夕食時には日本語でオーダーする学生もいました。今後の日本での生活に、日本語講座が役に立つものと思われます。

全行程では4泊5日となる今回のイベントですが、一つのプログラムが終わるたびに、それぞれの基盤に帰る学生同士や次のプログラムにも参加する学生とメールアドレス等を交換し、”Let's keep in touch.”と言葉を交わす場面がありました。このことは今回の交流だけでなく、今後さらに交流を深め、総研大のネットワークを発展させてくれることを期待させてくれました。

【文責 学融合推進センター 講師 岩瀬峰代】

● 基礎生物学研究所 一般公開『体験！生き物研究空間』を開催

基礎生物学研究所では、10月2日（土）、「体験！生き物研究空間」をテーマに、一般公開を行いました。

この取組みは、研究所の活動を公開し最新の研究成果を一般市民にも分かりやすく紹介するとともに、研究者との対話の場を広く提供することで、一般の方々により研究所を身近に感じてもらうと企画されたものです。工夫を凝らした企画が多数用意され、各地から約3500人の見学者が訪れました。

当日は、研究室や施設など所内26ヶ所で研究紹介が行われました。生物の実物展示や解説パネルの前には多くの研究者が立ち、来場者に直接語りかけるスタイルで研究を紹介し、交流を深めました。顕微鏡による植物細胞の観察や、試薬を使ったホタルの発光の再現など体験型の企画も多く、子供から大人まで夢中になって取り組む姿が見られました。事前予約者を対象とした体験実験では、アサガオの葉をDNA鑑定し、花の色を判別する実験を行いました。また、研究で得られた画像データを元に作成した3D映像作品「3D映像で生き物の内部を旅してみよう」の上映や、研究者とコーヒ一片手に会話を楽しむサイエンスカフェが開催され、人気を集めていました。所員総出で開催された一般公開では大学院生の皆さんも大活躍でした。準備は大変でしたが、沢山の交流が生まれ大変有意義な一日でした。



顕微鏡でカエルの卵を観察する来場者



3D映像に見入る来場者

【文責 基礎生物学研究所】

● 国文学研究資料館 シンポジウム「集と断片―日記と紀行の時空―」を開催

2010年9月10日（金）、コレージュ・ド・フランス日本学高等研究所と国文学研究資料館の共催によるシンポジウム「集と断片―日記と紀行の時空―」が早稲田大学で開催されました。

国文学研究資料館とコレージュ・ド・フランスは1996年に学术交流協定を締結し（「国文研ニュース」No.16参照）、それ以来、日仏の研究者による共同研究やワークショップなどが行われています。シンポジウムではその成果の一端が公開されました。当日は約50名の方がご来聴下さり、谷川恵一氏（国文学研究資料館・総研大教授）の挨拶で開会しました。

日本文学の有力な編成原理として、短い作品や「断片 fragments」を集成し、一つの「集 collections」を構築するという手法を挙げることができます。今回のシンポジウムはそうした切り口から、一首の和歌や一つの説話といった「断片」が、どのようなコンテキストのもとで「集」としてのまとまりを与えられ、新たな意味を獲得するのか、そのプロセスや機能を明らかにしようとするものでした。日仏8名の研究者がパネリストやディスカッサントとしてご登壇下さり、平安から現代に至る日記・紀行文学をめぐるテキスト編成の分析と考察が行われました。プログラムは以下の通りです。



アニック 堀内氏と鈴木淳氏



今西祐一郎館長

- ①今西祐一郎氏（国文学研究資料館長・総研大教授）
「日記」と「歌」―平安仮名日記の「集」と「断片」
- ②ブリジット・ルフェーヴル氏（CRCAO博士研究員）
野上弥生子の「日記契約」
- ③堀内アニック・美都氏（パリ・ディドロ大学教授）
江漢西遊日記を通して見る近世後期文人層の行動と社会観
- ④千本英史氏（奈良女子大学教授）
鴨長明『発心集』―一人称的叙述のありようについて―



セシル・坂井氏

各発表にはディスカッサントとして寺田澄江氏（INALCO 教授）、宗像和重氏（早稲田大学教授）、鈴木淳氏（国文学研究資料館・総研大教授）、ミシェル・ヴィエイヤール＝バロン氏（INALCO 教授）がついて下さり、示唆に富んだ質疑応答が展開されました。続いて登壇者とフロアの間にも活発な議論が交わされ、4時間半に及ぶシンポジウムは盛況のうちに閉会となりました。また、パリ・ディドロ大学のセシル・坂井氏からはお心のこもったご挨拶を賜り、会場校の田淵句美子氏には会場手配をはじめ総合司会を務めて頂くなど、格別のご高配を賜りました。

シンポジウムの開催に当たっては、早稲田大学の院生の方、そして、総研大の日本文学研究専攻の現役院生や卒業生の方々にもお手伝い頂きました。配付資料の準備や会場設営その他、本当に良く頑張っておられました。当日は熱心に耳を傾けてノートを取っておられましたが、先生方の深みのあるご発表や、多様な視点からの議論を伺えたことは、きっと今後の研究の発展に繋がるものと思います。

「集と断片」をメインテーマとするシンポジウムは、引き続き、来年と再来年の秋にも開催する予定です。詳細は当館 HP でご案内しますので、是非ご来聴下さい。

【文責 日本文学研究専攻 准教授 齋藤真麻理】

第10回自然科学研究機構シンポジウム開催～大学紹介展示ブース設置



平成22年10月10日（日）に学術総合センター（一橋記念講堂）において、第10回自然科学研究機構シンポジウム「多彩な地球の生命 宇宙に仲間はあるのか」が、約500名の参加を得て開催されました。

基礎生物学研究所の皆川純教授による「光合成のダイナミズム」など9名の講演が行われ、最後のパネルディスカッションでは、ジャーナリストの立花隆氏が進行役として参加して活発な意見交換がなされました。

シンポジウム会場では講演会場の他にパネル展示のブースもあり、総研大の他、自然科学研究機構、分子科学研究所、国立天文台、核融合科学研究所、基礎生物学研究所、生理学研究所の各機関が趣向を凝らして展示し、研究活動をPRしていました。多くの参加者の方が、展示ブースを訪れ資料を手に取り、担当者に質問するなど、こちらも盛況のうちに終了しました。



大学紹介展示ブース



パネルディスカッションの様子

【文責 総務課】

【各種募集】 現在公募中の情報

事 項	応募期間	提出先
平成 22 年度(第 16 回)総合研究大学院大学 長倉研究奨励賞	平成 23 年 3 月 修了 見込みの者: 平成 22 年 12 月 16 日(木)まで	総合研究大学院大学 学務課研究協力係
http://www.soken.ac.jp/student/guide/nagakura.html		
国立天文台滞在型研究員	随時(滞在希望初日の前 月 1 日まで)	国立天文台研究支援係
学融合推進センター 研究論文助成	随時	総合研究大学院大学 総務課葉山事務室
http://center.soken.ac.jp/act/thesis.html		

【イベント情報】

● 総研大の行事

11月

日程	時間	行事名	場所
3 日(水・祝)	10:30-12:30	第 13 回学術講演会	葉山キャンパス
6 日(土)	12:00 開場 12:30 開演	遺伝学専攻 大学院説明会	秋葉原コンベンションホール
	https://www.leaveanest.com/nig/		
6 日(土) -7 日(日)		文化科学研究科 学術交流フォーラム	TKP東京駅八重洲ビジネス センター3Aホール(3 階)
	http://www.initiative.soken.ac.jp/img/forum2010.pdf		
10 日(水)	17:00-19:00	情報学専攻 入試説明会	国立情報学研究所 12 階会議室
	http://www.nii.ac.jp/graduate/guidance/		
12 日(金)	15:00-17:30	統計科学専攻 大学院説明会	統計数理研究所 2F 会議室 1 (D222)
	http://www.ism.ac.jp/senkou/setsumeikai.html		
14 日(日)	12:30-17:00	基礎生物学専攻・生命共生体進化学専攻 合同入試説明会	ホテル東京ガーデンパレス (平安 A・B)
14 日(日) -15 日(月)	14 日: 10:30-17:30	総研大セミナー: 最新の流星電波観測とその応用	国立天文台 講義室
	15 日: 10:00-16:00		

12月

日程	時間	行事名	場所
16 日(木) -18 日(土)	13:30-	国際シンポジウム	岡崎コンファレンスセンター

● 基盤機関の行事

11月

日程	時間	行事名	場所
10月14日(木) -11月15日(月)		国立天文台 「地球に近づくハートレイ彗星を捉えよう」キャンペーン	各地開催(リンク先参照のこと)
http://naojcamp.nao.ac.jp/phenomena/20101014/			
10月26日(火) -11月7日(日)		重要文化財 洛中洛外図屏風甲本公開	国立歴史民俗博物館 第2展示室
http://www.rekihaku.ac.jp/exhibitions/project/o101026_r.html			
10月26日(火) -12月5日(日)		旗本本多家資料の世界	国立歴史民俗博物館 第3展示室
http://www.rekihaku.ac.jp/exhibitions/project/special_03_2010.html			
9月16日(木) -12月7日(火)		特別展「彫刻家 エル・アナツイのアフリカ— アートと文化をめぐる旅」	国立民族学博物館 特別展示館
http://www.minpaku.ac.jp/special/elanatsui/			
10月14日(木) -12月7日(火)		企画展「アジアの境界を越えて Beyond the Boundary in Asia」	国立民族学博物館 企画展示場 A
10月26日(火) -12月26日(日)		武士とはなにか	国立歴史民俗博物館 企画展示室
http://www.rekihaku.ac.jp/exhibitions/project/index.html			
2日(火)	13:30-16:30 開場:13:00	統計数理研究所公開講演会「環境問題を科学的に考えよう」—地球環境・生活環境保全に対する統計数理の役割—	統計数理研究所 大会議室
http://www.ism.ac.jp/kouenkai/index.html			
2日(火) -28日(日)		くらしの植物苑特別企画 伝統の古典菊	国立歴史民俗博物館 くらしの植物園
http://www.rekihaku.ac.jp/events/schedule/index.html#c			
3日(水・祝)	13:30-16:00 開場:13:00	みんなく映画会 映像に描かれるく包摂と自律—国境と民族を越えて— 第7回上映会『トゥルー・ヌーン イワノビッチの村』	国立民族学博物館 講堂
3日(水・祝)	13:00-16:35	宇宙学校・東京	東京大学 駒場キャンパス 13号館1323教室 主催:JAXA
http://www.isas.jaxa.jp/j/topics/event/2010/1103_tokyo.shtml			
5日(金)	1. 10:00-10:40 2. 11:00-11:40 3. 13:00-13:40 4. 14:00-14:40 5. 15:00-15:40	特別展「彫刻家 エル・アナツイのアフリカ— アートと文化をめぐる旅」関連 MMP 視覚障害者の方への展示案内	国立民族学博物館 特別展示館
http://www.minpaku.ac.jp/museum/partners/event.html			
6日(土)	12:00 開場 12:30 開演	国立遺伝学研究所 公開講演会 2010	秋葉原コンベンションホール
https://www.leaveanest.com/nig/			

7日(日)	14:00-17:00 開場:13:30	国際シンポジウム 希望社会への道—スウェーデンと日本におけるウェルビーイングの思想と市民社会—	国立民族学博物館 講堂
	http://www.minpaku.ac.jp/research/fr/20101107.html		
7日(日)	14:30-15:30 (予定)	企画展「アジアの国境を越えて Beyond the Boundary in Asia」関連 第181回みんなばくウィークエンド・サロン 「アムールの人々の文化交流」	国立民族学博物館 企画展示場 A
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/exhibition/boundaryinasia/		
9日(火)	18:30-19:45	平成22年度 国立情報学研究所 市民講座 第6回「研究活動を研究する —未来につながる学術動向をつかむには?—」	学術総合センター 2階中会議場
	http://www.nii.ac.jp/shimin/		
9日(火)	10:00-16:00	公開講座「統計的品質管理—問題解決のための統計的方法—」	統計数理研究所 セミナー室 5(D-313)
	http://www.ism.ac.jp/lectures/22g.html		
13日(土)	14:00-16:00	第323回歴博講演会「武家の史料学」	国立歴史民俗博物館
	http://www.rekihaku.ac.jp/events/lecture/index.html		
13日(土)	11:00-12:00	歴博探検「昭和の子ども」	国立歴史民俗博物館
	http://www.rekihaku.ac.jp/kids/explore.html		
11月13日(土) 11月20日(土) 11月27日(土)	13:30-15:30	第1回(平成22年度)市民大学総合研究大学院大学コース「やさしい宇宙の話」	宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 2階大会議場
	http://sagamachi.jp/manabi/shimin-daigaku/		
13日(土)	14:30-15:30	企画展「アジアの国境を越えて Beyond the Boundary in Asia」関連 ギャラリートーク	国立民族学博物館 企画展示場 A
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/exhibition/boundaryinasia/event.html		
13日(土)	12:00-15:30	MMP 点字教室	国立民族学博物館 1階エントランスホール(無料ゾーン)
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/partners/event.html		
14日(日)	14:30-15:30 (予定)	第182回みんなばくウィークエンド・サロン 「イヌイト・アートについて」	国立民族学博物館 アメリカ展示場
20日(土)	14:00-18:00	平成22年度 国立情報学研究所 軽井沢土曜懇話会 第3回	国立情報学研究所 国際高等セミナーハウス
	http://www.nii.ac.jp/karuizawa/		
20日(土)	13:30-15:00 (開場:13:00)	特別展「彫刻家 エル・アナツイのアフリカ—アートと文化をめぐる旅」関連 第390回みんなばくゼミナール「アフリカの王様たちは今~ナイジェリアの政治と文化」	国立民族学博物館 講堂
	http://www.minpaku.ac.jp/special/elanatsui/event.html		

20日(土)	11:00-12:00	特別展「彫刻家 エル・アナツイのアフリカ—アートと文化をめぐる旅」関連 ギャラリートーク	国立民族学博物館 特別展示館
	http://www.minpaku.ac.jp/special/elanatsui/event.html		
20日(土)	12:00-17:00 (予定)	大学共同利用機関シンポジウム 「万物は流転する」	ベルサール秋葉原 2F イベントホール
	http://www.nifs.ac.jp/int-univ-symp2010/		
21日(日)	10:30-12:00 (開場:10:00)	国立天文台公開講演会 アルマ望遠鏡でさぐる宇宙のなぞ ～わたしたちはどこからきたのか?～	東京国際交流館 国際交流会議場
21日(日)	15:00-18:00 (開場:14:30)	すばる望遠鏡公開講演会 2010 「太陽系外の惑星を探る」	慶応大学日吉キャンパス 協生館 2階 藤原洋記念ホール 主催:国立天文台
	http://tmt.mtk.nao.ac.jp/info/20101014subarulecture.html		
23日(火・祝)	14:00-15:00	企画展「アジアの国境を越えて Beyond the Boundary in Asia」関連 ギャラリートーク	国立民族学博物館 企画展示場 A
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/exhibition/boundaryinasia/event.html		
23日(火・祝)	13:30-15:45 (開場:13:00)	企画展「彫刻家 エル・アナツイのアフリカ—アートと文化をめぐる旅」関連 研究公演「ワークショップと公演 現代の音楽とアフリカ」	国立民族学博物館 講堂
24日(水) -25日(木)	10:00-16:00	公開講座「最適化の数理と応用」	統計数理研究所 大会議室(B-201)
	http://www.ism.ac.jp/lectures/22h.html		
27日(土)	13:30-15:30	第140回くらしの植物園観察会 「文芸作品に見る菊見」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物園
	http://www.rekihaku.ac.jp/events/schedule/index.html#c		
27日(日)	13:00-15:30	宇宙学校・こおりやま	郡山市ふれあい科学館 主催:JAXA
	http://www.isas.jaxa.jp/j/topics/event/2010/1128_koriyama.shtml		
28日(日)	14:30-15:30 (予定)	第183回みんぱくウィークエンド・サロン 「アートになったインド・サリー」	国立民族学博物館 南アジア展示場
11月30日(火) -1月30日(日)		くらしの植物園特別企画 冬の華・サザンカ	国立歴史民俗博物館 くらしの植物園
	http://www.rekihaku.ac.jp/events/schedule/index.html#c		

12月

日程	時間	行事名	場所
4日(土)	13:30-15:30	第141回くらしの植物園観察会 「サザンカの花色と花形の変化を楽しむ」	国立歴史民俗博物館
	http://www.rekihaku.ac.jp/events/schedule/index.html#c		

5日(日)	14:30-15:30 (予定)	第184回みんなくウィークエンド・サロン 「西ジャワの作曲家～ナノ・S.」	国立民族学博物館 ナビひろば
11日(土)	14:00-16:00	第324回歴博講演会 「旗本退屈男の事件簿」	国立歴史民俗博物館
	http://www.rekihaku.ac.jp/events/lecture/index.html		
12日(日)	14:30-15:30 (予定)	第185回みんなくウィークエンド・サロン 「南インドの音楽とグローバル化」	国立民族学博物館 ナビひろば
17日(金)	10:00-16:00	公開講座「臨床試験におけるベイズ流デザインの基礎と応用」	統計数理研究所 大会議室(B-201)
	http://www.ism.ac.jp/lectures/22j.html		
18日(土)	13:30-15:00 (開場:13:00)	第391回みんなくゼミナール 「バルカン商人と羊飼い—民族国家を求めなかったひとびと」	国立民族学博物館 講堂
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/seminar10.html		
19日(日)	14:30-15:30 (予定)	年末年始展示イベント「うさぎ」関連 第186回みんなくウィークエンド・サロン「年末年始展示イベント『うさぎ』と職員研修会」	国立民族学博物館 企画展示場B 入口
12月21日(火) -1月30日(日)		双六の小宇宙	国立歴史民俗博物館

2011年1月

日程	時間	行事名	場所
8日(土)	14:00-16:00	第325回歴博講演会 「しぐさの民俗」	国立歴史民俗博物館
	http://www.rekihaku.ac.jp/events/lecture/index.html		
13日(木) -14日(金)	10:00-16:00	公開講座「正定値カーネルによる統計的データ解析-カーネル法の基礎と展開」	統計数理研究所 セミナー室1(D-305)
	http://www.ism.ac.jp/lectures/22k.html		
15日(土)	13:30-15:00 (開場:13:00)	新言語展示関連 第392回みんなくゼミナール「みんなくエスノログ」	国立民族学博物館 講堂
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/seminar10.html		
19日(水)	18:30-19:45	平成22年度 国立情報学研究所 市民講座 第7回「マルチメディアと検索技術 —キーボードを使わずに検索するには?—」	学術総合センター 2階中会議場
	http://www.nii.ac.jp/shimin/		
22日(土)	13:00-17:00	第77回歴博フォーラム「新春うさぎばなし」	ヤクルトホール 主催:国立歴史民俗博物館
22日(土)	13:30-15:30	第142回体験講座 「桜草を植え替えよう」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
	http://www.rekihaku.ac.jp/events/schedule/index.html#c		
24日(月)	10:00-16:00	公開講座「Rを使ったハイパフォーマンスコンピューティング入門」	統計数理研究所 セミナー室1(D-305)
	http://www.ism.ac.jp/lectures/22m.html		

【教員の受賞情報等】

複合科学研究科

極域科学専攻

- 藤田秀二 准教授
日本雪氷学会学術賞 受賞

情報学専攻

- 越前功 准教授、山田隆行（総研大越前研究室）
情報処理学会 CSS2010 優秀デモ賞 受賞
- 山田誠二 教授
社団法人計測自動制御学会
第20回インテリジェントシステムシンポジウム（FAN2010）論文賞 受賞
- 坂内正夫 教授
エリクソン・テレコミュニケーション・アワード 受賞
- 小林哲郎 助教
第9回（2010）ドコモ・モバイル・サイエンス賞奨励賞 受賞
- 山田誠二 教授、大澤博隆（外来研究員）
第27回情報処理学会 UBI 研究会優秀論文賞 受賞

生命科学研究科

遺伝学専攻

- 荒木弘之 教授
日本遺伝学会木原賞 受賞

【編集後記】

総研大ニューズレター第30号をお届けします。

11月になりました。葉山の木々も色づきはじめ秋の深まりを感じさせます。読書の秋、スポーツの秋、食欲の秋などなど秋の楽しみ方はいろいろとありますが、皆様はこの秋をどのように楽しんでいらっしゃるでしょうか。

さて、本号は10月入学式およびその後に開催された学生セミナー等がトップニュースになっています。9月に修了生を送り出し、新たに30名の新入生を迎えました。国籍も研究分野も様々な新入生の本学での学生生活が希望に満ちたものであることを願っています。

◎各専攻で教員や学生がメディアに出演が決まっている場合や、発表や表彰等があった際にはご連絡ください。またメディア等に出演される場合は、可能な限り「総合研究大学院大学」と表記していただけますようご協力をお願いします。

発行 2010年11月10日

編集



国立大学法人

総合研究大学院大学

THE GRADUATE UNIVERSITY FOR ADVANCED STUDIES

広報委員会

神奈川県三浦郡葉山町（湘南国際村）

総務課広報係（担当）

TEL 046-858-1590/FAX 046-858-1542

E-mail: kouhou@ml.soken.ac.jp

©2010 SOKENDAI